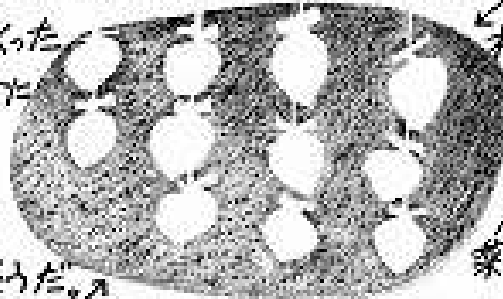


里山歳時記

高い所は風が吹く、低い所は水が出る。鎌倉の所につかまって 折々谷いまかない 何とか取り付けて ゆらゆら揺れながら暮らせれば まあ 幸せであります。縁有てこの街へ来てから 20年近くにもなる。望山の風景もまだまだ有て 日頃 木や水や土に 触れる 場面もたくさんで ます 氣に入っている。この秋には 実のなるものは 豊作の様で とりわけ 柿は どの木も 多くの実をつけた。ハチヤガキで 今年

も 干し柿をついた。晩秋には 妙に 気温が高い日もある。かどの 心配もしたが どのにか 出来た。



柿をむきながら もやほりどにか 不安な 氣持が 過る。群馬でも 野菜の一部が 出

と 荷停止 になたりして 困っている。腹に見えないものは 人に 運轉 触れ 来る。さりとて すぐに 解決策 というのは 無いと すれば どうしたものか。少し 氣持を取り 遣して 犬と 散歩に出る。名前を フクと 言て ほんの小犬であった頃 彼を 自ら 我家へ 来たので す。フクは 11つも 強いかで 私を 引ひ びる。分水道 になると 11つも 今ま で 行った 事のない 新しい道の方へ 私を 引ひ びりて。時には 香が 変色 する くらい 強いかで 行こうとする。私は ぐれに 膝 屈して いる 二の 頃である。

文イラスト 石橋

花

ル

バ

ム

ア



みんなお客様が
いらっしゃいました

チーム FUKUDA で〜す

「まついだもりの家」に行ってきました

組長・福田 正明

チーム FUKUDA は、川崎市発達相談支援センターで出会った中高生を中心にしたグループです。現在は小6から大2まで10名ほどと3、4名のスタッフで、毎月1回集まって、皆で相談して決めた計画にもとづいて活動しています。以前はゲーム大会などのインドア活動が主でしたが、今はバーベキュー、ハイキング、フットサルなどアウトドアが中心です。

元々、平成20年にセンターが開所してしばらくは、個々にセンターに相談に来ていました。当時中学生だった今のメンバーの何人かが不登校で暇を持て余していたので、センターを居場所として開放していました。その時のルールは、①センター開所時間中はいつ来てもよい ②スタッフは他の相談があるときは一切構わない ③予約で相談に来所している人に迷惑をかけない でした。

折りしも、一人を担当していた心理士さんからグループ作りの強い要請があり、じゃあ何人かで集まってやってみようと、「中高生グループ活動」としてスタートしました。

しばらくはセンターの相談事業としてやっていましたが、メンバーの結束が強まるにつれてセンターの公共性の中で、固定メンバーで活動することが難しくなりました。また、僕は他部署に異動したため、ボランティアで参加していました。そんなある日、メンバーの健人から僕に電話がありました。「みんなで相談して僕たちセンターを卒業することにしました。そうすれば新しい人を入れなくてもいいし、福田さんも来やすいでしょ。」僕はコイツらの賢さにあらためて感激し、目頭が熱くなりました。それ以降、僕らはセルフヘルプグループとして再出発し今に至っています。

名称は満場一致で「チーム FUKUDA」に決定。僕をサンドバックにしてきたコイツら（皆が荒れていたころ、僕が下らない冗談を言っただけに皆にボコボコにされるという構図でした）が決めた名前だから、受けて立ちます。

今は仲間がいることでそれぞれの所属先で何とか適応してやっているようですが、これからは誰かが何か困難にぶつかった時には、皆で知恵を出し合って一緒に成長していけるように願っています。かく言う僕も、皆と会うと癒されひと時厳しい現実から解放されます。

グループを始めたころ、皆に何がしたいか聞いたところ、口々に「お泊り」という希望が出ました。皆、親元を離れたかったんです。以来、年1回を目標に1泊2日の「合宿」をしています。

以下、今回森の家での合宿の皆の感想です。

- ・ うっち：みんなみんな腐れ縁
- ・ 健人：言いたくない。（スタッフが）大人げない。
- ・ なぎ君：焚火をつついて形がなくなるまでやった。薪を運んできた。うちわで扇いだ。
- ・ せっきー：個性豊かな仲間とともに、これからも楽しくやって行きましょう。
- ・ ゆうすけ：みんなと仲良くできた。

- ・ たくま：一致団結して福田さんを育てていく会。
- ・ しもっち： 到着までいろいろありましたがホントに楽しかったです。
- ・ 阿佐野：初めの頃てんでんバラバラだったメンバーが本当にいい仲間になってきたと改めて感じました。その時々で自分の引き受けるべき役割を感じ、分担し、メンバーが困っていれば本当に自然に助け舟が出せるようになりました。
- ・ はせ山：しっかり思春期を迎えているのはやはり 2 年前では考えられなかったと思います。
- ・ タケ：ビッグな焚火ができるペンション！ 遊んでくれたみんなに感謝。
- ・ 組長： 命果てるまでグローイング・アップだぜ！

また機会がありましたらよろしくお願いします。 グループ一同より



前のめりのヤングマンたち

森のおばさんのコメント

今回、事前に予定を何度聞いても、答えは「ノープログラム」。
敢えてとのことでした。

その結果は・・・西松井田駅下車→森の家まで徒歩（5
キロくらいある）→森の家周辺で薪になる木を拾い集め＋ご
近所まで薪もらいに行き、夜延々と焚火→地元の高校進学を
控えた中学生に親身のアドバイス→一緒にトランプ→翌日午
前中は、森の家裏手の凸凹はらっぱで変則ルールのままに草
野球→テクノダンスを披露してくれたり→最後は少しアタリ
マエに妙義山ドライブもし、食事処でマイクを握って熱唱・・・
楽しそうなヤングマン達でした。

川崎の兄さんたち

森の家で川崎から来た兄さんたちにあった。最初に見たときにか
なりの大きさの焚き火を紅々ともやして面白そうだった。焚
き火の周りでみんなで話しているうちに自分が馴染んでいると気づ
いた。それは自分と同じように、自分を中心として考えて生きている
からだと思った。アスペルガーも人によってさまざまだが、人が
話している時もタイミングを考えずに話し出すことや、あまり周りを
気にしないことなど、自分と同じところがあるからだと思った。

物書き修行中のアスペルガー少年——堀越 風人

ようこそ 松井田へ

松井田へ引っ越して来られた方のお宅に伺い、
なんとなくお話を聞き、ご紹介するコーナーです。

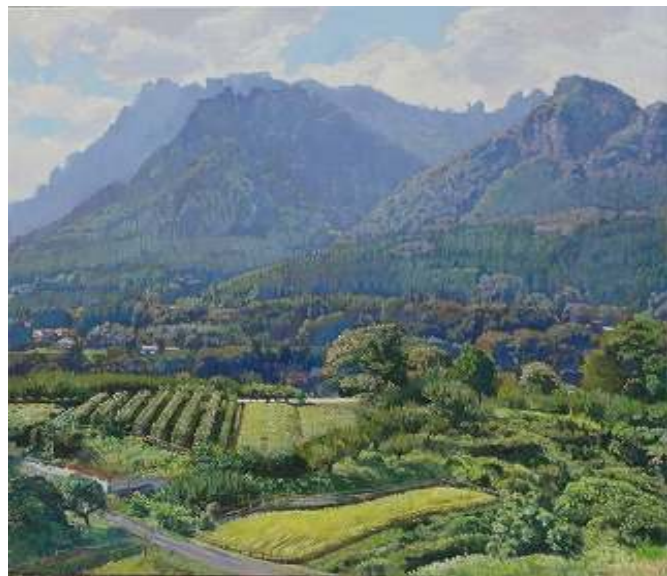
笹山勝雄さん訪問（松井田町新井在住）

松井田町内を車で走っていると、道端でキャンバスに絵を描いている人を見かけます。その方が今回登場の笹山勝雄さんです。横目でちらりと見て通り過ぎてしまう事数回。一度運よく散歩コースでお見かけして、お邪魔しないように制作中を拝見させていただいた事がありました。何年か前に高崎のシティギャラリーで個展をしていた方でした。

笹山さんは天草のご出身で、東京の青梅、埼玉、群馬は富岡、下仁田を経て、平成22年の4月に松井田の高梨子に引っ越して来られました。絵を描く現場に日々通える家を求めての引っ越しです。趣味が山登りなので、秩父の山や、妙義山との出会いがありました。

「松井田の風景は空に広がりがあります。東京に居た頃の絵には空が無かった。」とおっしゃっていました。

「五料からの妙義山」 笹山勝雄



平成23年の5月に松井田の文化会館で個展をした時には大勢の方が見に来られたのに驚かれたそうです。新聞を見て孀恋からも来られた方もおいでとか。

ご本人曰く、「(感動して)衝動買いをしてもらえるような絵を描きたい。」

現在のペースは、1年に50枚くらいの絵を描いて、個展・グループ展・画廊展（銀座でも）開催。前橋、高崎、下仁田の計4か所で教室を開いています。

お話をお伺いした部屋には、絵が沢山並べられていて、なんだかとても得した気分でした。若い時に描いた絵も奥の部屋から出して来て下さり、画風の違いや、逆光の妙義山の見え方や家の影などの描き方なども教えて下さって、絵からも伝わって来る誠実なお人柄にも触れる事が出来ました。自分の部屋にこの方の描いた絵があったら、幸せな気持ちになれそうな気がしました。

ぜひ、次回個展（24年6月松井田文化会館にて予定）に足をお運びください。私たちが普段何気なく当たり前に見ている松井田のステキを発見できますよ。（内田 記）

世界は心で出来ている。

転々

いつもゆらゆらと不安定な心を持っている私の実感として、心の状態と目に映る世界は密接に関わっているようです。悩み事がある時は雑誌の占いコーナーに目が行きやすいし、ダイエットをしている時は食べ物の広告や道行く人の体形が気になります。遊ぶ子供の声を聞いて、可愛いと思うかうるさいと思うか。仲むつまじいカップルを見た時、微笑ましいと思うかいやらしいと思うか。同じ風景を見ていても、受けとめる心の状態が変われば、世界の色は微妙に変わっていきます。強いストレスを抱えている時には、幻覚レベルで世界が変化することさえあります。

昔、ややこしい恋愛をして悩んでいた時、恋人と会った帰り道に何気なく本屋に入って仰天しました。店の中にいた人の顔が、ひとり残らずさっき会った恋人の顔に見えたのです。店員も客も男の人も女の人も子供も、みんな同じ顔をしていました。ホラー映画のワンシーンのようでした。慌てて逃げ出したのですが、しばらく心臓がドキドキ鳴りやみませんでした。ここまで極端な体験をしたことは後にも先にもありません。よほど心が追いつめられていたせいだと思います。

人生を灰色にするのもバラ色にするのも心。心が世界に及ぼす影響はこのように計り知れないので、私はあれこれ知恵を絞ってなるべく心をいい状態に保つようにはしています。

落ち込んだ時の対応。まず、「落ち込んだ時自分はどうなるのか」を把握しておく必要があります。「悲しいなあ。落ち込んでいるなあ」とすぐに自覚できるケースはむしろまれです。「やたら物を食べたくなる」「お酒を飲みたくなる」「怒りっぽくなる」など、人によってさまざまな行動パターンがありいつの間にかそれにハマっていることが多いので、「今、私は落ち込んでいるな」と自覚するだけでも少し心の状態は良くなります。落ち込んでいる自分に気づかないのが一番怖い。「落ち込んでいるから食べているんだな。でもそろそろやめよう」というように、無理のないよう気持ちを切り替えます。

緊張している時や、不安になった時の対応。緊張すると過呼吸といって、呼吸が異常に速くなって苦しくなる発作が起こりがちですが、しばらくの間ビニール袋を口に当てて中の空気を深く吸うようにしていると治まります。緊張しやすい人は普段からビニール袋を持ち歩くといいでしょう。気持ちを落ち着かせるため、お祈りやおまじないの言葉を唱えるのもひとつの手です。般若心経や、主の祈りなど、古くから伝わってきた祈りの言葉にはそれなりの力があるように思えてなりません。信仰というものに抵抗があるのなら、「絶対大丈夫」「負けるもんか」といった言葉でもいいです。意外に効果があるのは「ベホマ」。皆さんご存じ、ドラゴンクエストの回復の呪文です。子供っぽいかと思いきや、不安な気持ちを笑い飛ばすのに役立ちます。

なんだか悪いことばかり続いている時の対応。「ああ、今は勉強会、反省会だなあ」と思いつつ推移を見守ります。事態が好転しなければ、「これをしのいだら、一回り大きくなれるな」と思って耐えます。いよいよ窮地になれば、「まあ、命を取られるわけじゃないし」と自分に言い聞かせます。それでも我慢できなくなった時には、苦しまぎれにわあわあ泣きましたが、その一方でなにもかも滑稽に思えて、思わず笑いがこみ上げてきました。

人生は心で見る風景の積み重ねです。どんな時でも笑える自分でいたいと思っています。

転々(てんてん)

名古屋市在住。物書き志望。精神障害者手帳を更新したら、1級から2級に障害の程度が下がりました(めでたい?)

万工房・陽だまり 訪問記



そこは、箕郷支所（高崎市）の直ぐそばにありました。

ちょうど良い場所に、ちょうど良い間取りと広さのお家。

訪ねたその日は、秋の陽射しが射し込んだ、まさに陽だまり状態でした。

オーナーの金田一幸江さんは、ご自身病を抱えながらも、「車椅子の娘（陽子さん）のための居場所を作りたい。誰もがくつろげる空間を作りたい。」と4月にこのカフェをオープンされました。メニューはコーヒー&ケーキ（250円）と、そこから、3キロほど榛名山寄りの自宅で採れた旬野菜たっぷりのランチ（1000円要予約）です。幸江さんのお気持ちが表れた設定になっています。

〜〜陽子さんからのメッセージ〜〜

私の名前は、「金田一陽子」です。お店の名前の由来は、母が私の名前から取ってくれました。「万工房・陽だまり」は、その名の通り昼間は暖かい日光が射し、陽だまりがとても心地良く安らげる場所です。お店自慢のサクサクのアーモンドクッキー（フロランタン）は、おかわり自由のコーヒーに良く合います。焼きたてのチーズケーキには、香り豊かな紅茶をぜひどうぞ。そのほか、シーズンによって限定のスイーツもありますよ。ご来店いただいたお客様が、少しでもほっとできるような空間になることを願っています。そして、人と人の「心のつながり」を感じて、まるで心ごと「陽だまり」にいるような、そんな暖かい気持ちになって頂ければ幸いです。



一階には二間続きの喫茶部、二階には畳の部屋が二間、バリアフリーのトイレ。ミニ会議に宿泊に発表の場にと多目的に利用できそうです。その後も何度か訪問しましたが、いつも沢山の人が集い、そこはすでに立派な陽だまりでした。
(高橋 記)

高崎市箕郷町西明屋 4 1 7

TEL. 080-4434-8866

11:00~16:00

定休日 水曜日・日曜日

森 cafe 便り

師走に入るとすぐに待ちわびていたように松井田に初雪が降り、のんびり紅葉している森の家の裏山がうっすら雪化粧していました。

7月22日にOPENした木曜日限定の森 cafe は、皆さまの応援と励ましのおかげでここまで続けることができました。森の家を一人でも多くの皆さまに知って頂きたい、素敵な森の家で心ゆくまで寛いで頂きたい、森の家と同じ「障がいのある方もない方も」をコンセプトに続けて参りました。

お料理もデザートも、地場産の採れたて新鮮野菜を使い、調味料や出汁にもこだわり、卵は平飼いの健康な卵、お砂糖は奄美のキビ砂糖や純黒糖を使い、ココロとカラダがホッとする優しいおもてなしをめざしました。



ある日の cafe メニュー

本日のベジランチ

- ・高野豆腐のはさみカツ サラダ添え
- ・いろいろキノコのれんこん煮
- ・ほうれん草と切り干し大根のお浸し
- ・コロコロじゃがいもの醤油炒め
- ・大根の梅酢漬
- ・黒米ごはん または 酵素玄米
- ・根菜の具沢山お味噌汁



かぼちゃプリンさつまモンブラン仕立て

そして、12月8日、森 cafe 最終日のこの日、森 cafe から感謝の気持ちを込めて、ささやかなミニコンサート付きのクリスマスランチをご予約の方限定で行い、お子さま含め 36 名の方にお集まりいただき、森の家のホールが一気に華やぎました。

オカリナの演奏に続き、ウクレレ奏者の金井悦子さんが澄んだ歌声と軽快なウクレレの明るい音色でクリスマスソングを奏で、それは何だかとっても森 cafe の雰囲気ピッタリで、最高の森 cafe 日和となりました。



たくさんの方々にご来店いただき、そして応援して励ましていただき、心から深く感謝申し上げます。冬季休業中、森 cafe の形をもう一度検討し直し、来春（2012年）の再OPENに向けて、また皆さまにご愛用して頂けるよう努めて参りますので、どうぞ温かな目で見守っていただければ幸いです。

森 cafe 代表

吉井 由貴子

森 cafe 臨時 OPEN のお知らせ

2012年1月20日（金）から4週間にわたって開催される、「バリアフリーアート あかね展」（無料）に合わせ、森 cafe を臨時 OPEN（軽食、ケーキ、ドリンクのみ）いたします。

2012年 1月20日（金）～2月13日（月）の期間中、金・土・日・月曜日のみ開催
10:00～15:00

新しい隣人をご紹介します

吉井 貴志・由貴子ご夫妻

央基くん（7才）漢字博士
青生くん（4才）虫大好き
日乃ちゃん（2才）アイドル



とーさんは高崎市根小屋、かーさんは仙台のご出身。共に鍼灸師さんで、安曇野の穂高養生園（ホリスティックケアセンター）でお仕事をされたあと、6年間奄美の徳之島で治療院を開き、平成23年4月に森の家の隣に引っ越してこられました。

とーさんは木や石の彫刻をするアーティストでもあり、治療院のかたわら、森の家の奥のはらっぱに自宅を自力で建てるべく奮闘中。

かーさんは玄米食からスイーツまで幅広いレパートリーをハイセンスでこなす料理人。7月オープンした森cafeの他、あちこちからお声がかかって出店やら予約やら大忙し。森の家の厨房にも助っ人入り、今春からは朝食も担当していただきます。

ハンディをお持ちの方々のための「森の家」だから関わりたかったと、次世代を担うスタッフとなってくださるお二人です。

（黒羽）

障がいてなんですか？

社会福祉法人「ながの障害者生活支援協会」岸田 隆 総合施設長の講演会より

WHOの国際定義 「人が生きることの困難さ」

一つは、心身と活動の障がい 心・身体・脳（本人に属している分）

もう一つは、社会的障がい

*障がいは固定的なものではなく、健康状態、人間関係、仕事、家族、支援の質や量、居場所などにより、大きくも小さくもなる。

障がい者権利条約

身体に機能障害があり、

社会の障壁との相互作用により社会参加に制約を受ける人を 障がい者という。

障がいのある人もない人も、すべての人が普通に暮らしていける社会こそ「普通の社会」である。その構成員の一部を締め出すような社会は弱く脆い。安心して障がい者でいられる社会を目指すのが福祉である。

（なぜなら、私たちは 障がい者になる可能性があり、
いつでもだれでも、障がい者の隣人になる可能性があるのだから。）

*スウェーデンでは、妊婦は障がいのある状態とカウントされるので、障がい者率は、30%（日本は5%）

こんなイベントします

恒例

春市

4月8日(日)

安中市松井田町 **細野ふるさとセンター**にて

10時~15時

東日本大震災支援チャリティバザー

売り上げは 全額 福島の原因により被災された皆様の支援に使わせていただきます。
品物のご提供を受け付けております。

連絡先：027-393-0655 まついだ森の家

ランチ&カフェ

作品展示

地域の皆様の作品展
バリアフリーアート工房あかね展

ちびっ子集まれ

おもしろサイエンス体験
木工体験
石ころにお絵かき
お餅つきもあるよ!

一日中
ミュージック!

ケーナ・紙芝居・人形劇
ウクレレ
太鼓
ゴスペル

障がい

何でも
サポート
コーナー

クラフトショップ

作品展示販売
福祉の仕事場の製品 展示販売

癒しのコーナー

マッサージ体験

My箸・Myカップお持ち下さい

廃油持参の方プレゼント進呈

長らく森の家で実施してきた「春市」ですが、
今年初めて地域のふるさとセンターを会場に開催いたします。
森の家を知っていただくとともに、地域の皆様に楽しみにして
いただけるイベントとして定着していけたらと思います。

ふるさとセンターは、目の前に妙義山を眺め、ローラー滑り台
のある芝生の庭、鯉の泳ぐ池、樺の大木のある、素敵な場所です。

ろうばいの郷 オープン

1月8日(日) 第12回 ろうばい祭り

ロウバイは、黄色い花びらが蠟質で覆われているために、冬の寒さにも、枯れず、凍みず、薫り高く、色鮮やかに咲き続けます。

冬枯れの寂しい里山風景、荒れてゆく遊休農地を何とかしたいと考えた一人の村人がいました。

コツコツと植え育てたロウバイは、今はこんなにたくさんの人々の冬の楽しみとなり、村の宝となりました。

正面には妙義山の奇峰が並び、東は県境の山脈の上に、真っ白な浅間山を望む素晴らしいロケーションです。

祭り当日は、入園無料。

ロウバイの切り枝プレゼント、甘酒サービスあります。

地元の芸能発表、地元物産の販売もあります。

お楽しみください。

‘ロウバイは、2月上旬くらいまで咲き続けます。

温泉と組み合わせてお出かけください。

森の家も、**森Café** を開いております。(軽食有り)

営業日 1/20~2/13の(金)(土)(日)(月)

期間中「**工房あかね展**」開催

編集後記

子供の頃から、自分の笑い顔に自信がありませんでした。眼はなくなるし、鼻は大きくなるし……。つい先日、「貴方の笑顔がいいなと思って。」と言われました。これも森の家効果かなと思い、嬉しくなりました。楽しくやらせてもらっています。感謝。(Y)

編集委員を楽しくさせて貰っています。今回の笹山先生の取材は「やって良かったー!!!」でした。確かに、人生には、めんどろな事や、割のあわないと思う事があるけれど、それは目先の小さなことですね。やった事は後で何倍もの喜びを運んで来てくれます。(内)

師走の忙しい中、3つの集まりに参加した。いずれも老若男女問わず、趣味も住む環境もひとそれぞれの顔ぶれ。でも、共通するのは互いを尊重する自由な雰囲気。よく遊び、よく笑った。笑う門には福来る。来年も、腹の底から笑える年にできますように♪(R)

ある日私は森の家の周りで、枝を伐ったり、草を抜いたり、蜘蛛の巣を払ったり、落ち葉を掃いたりする。私はただきれいにするためにそうしたのだが、木や草や虫たちや土たちしてみると、理由なく、一瞬にして、圧倒的な力で、自分たちの「生」が折り伏せられたことになる。そのように、人間が「震災」と呼ぶようなことは、ハイヤーレベルの何かが、人間の考え及ばぬ次元で動いた結果で、その意味は知りようもなく、あるかどうかも分からず、ただその中で生きたり死んだりしているのが私たちなのだ・・・(知)

まついだ森の家 ご紹介

◎ ホームページURL <http://www.normanet.ne.jp/~morinoie/>

「まついだ森の家」で検索してください

ホームページトップから、ブログをごらんになれます。

*まついだ森の家のホームページは、視覚障がいの方のための読み上げソフトに対応しています。

◎ ブログURL <http://matsuidamorinoie.gunmablog.net/>

「まついだ森の家里山日記。」で検索してください

◎ E-mail matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp

◎ 森Cafeブログ 「バリアフリーまついだ森 cafe 日和」

<http://moricafe.blog.ocn.ne.jp/>

まついだ森の家応援団会員 いつでも募集中！

NPO法人まついだ森の家は、二つの柱を立てて活動していきます

- * いろいろなハンディをお持ちの方とその支援者に対して
気兼ねなく泊まれる宿と、交流の場を提供する。
- * 里山の豊かな自然環境を発信していく。

その存在を応援してくださる方々が「応援団会員」です。

年会費は 10,000円、3,000円、1,000円 です。

「まついだ森の家通信」年2回と、各種イベントのご案内をお送りいたします。よろしくご支援ください。

お振込先 **ゆうちょ銀行**

口座番号 **00100-9-631710**

加入者名 **NPO法人まついだ森の家**

応援団会員 お名前（順不同・敬称略）

内田武夫、天田和也、影山太一、上泉歩、藤尾正明、古溪理哉、瀧澤久美子、木下美幸、高石友江、石橋與子、影山晴子、影山敦子、富樫真澄、石井義通、小林脩、堀越美妃、高階康彦、織茂加代子、黒羽知代、桜井ひとみ、木村薫、山口淑子、西郷孝彦、薬師寺正敬、鈴木拓実、岩崎和子、渋谷惇江、高橋比佐乃、郷原光子、藤岡春樹、石田実可子、小原啓太、谷川弥、中西雅人、原間啓史、平林茜里子、南順子、若林康秀、石渡正敏、大塚寿子、名倉康之、渡辺聖、白川紀子、杉山すみ子、多田貴枝子、高橋洋子、竹歳正子、小池光代、上原君代、伊達富美子、佐藤和枝、神戸まさ子、黛 恵美子、石井昭子、仲世古隆臣、黒羽正明、岡 寿子、真庭孝子、山川賢治、岡庭秀雄、山本美智子、熊谷充子、石原作知子、島村昌子、小林和夫、須藤いく子、中尾新之、南部康光、森下博子、森下 修、本多敬子、加藤聖午、藤尾孝枝、藤尾正栄、長山由利子、竹中志津子、西尾陽子、根本直子、上原静子、福田孝子、上杉洋子、秋山博明、志村加代子、木村紀子、小林 滋、大道寺彩子、大道寺玲子、小室てる、堀越風人、蓮沼光世、小林智子、佐藤智久代、狩野洋子、須藤敏弘、新井牧子、今井悦子、早川恵子、大里和代・健一郎、中畝常雄、中田静江、大久保妙子、轟 まさえ、石田英治、佐藤和子、横田寛子、山口テル子、林崎正史、中津瀬 隆、石川理恵、小井戸絵理子 大塚聖子、星野幸一、岩井智子、渋谷妙子、近藤龍良、深谷智子、潮忠男・晴美、小林智子、松尾浩子、南部康光、神山朝子、工藤泰子、萩原千栄子、深津弥恵子、本田豊、平林紹代、岡島春枝・佳樹、北岡三知男、五十嵐聖子、安藤千枝子、佐藤幸雄、武藤幸子、大崎千都子、伊東葉子、長 義光、黄、矢嶋洋子、桜井三喜子、岩崎賢江、石塚彩子、小野寺光源、川島真理子、古川佐紀子、金井伸一郎、平岡亜里子

ご支援ありがとうございました。

バリアフリーアート 工房あかね展

無料

in まついだ 森の家



主催 NPO 法人 工房あかね / 共催 NPO 法人 まついだ森の家 / 印刷協力 富士ゼロックス群馬(株)

開催期間

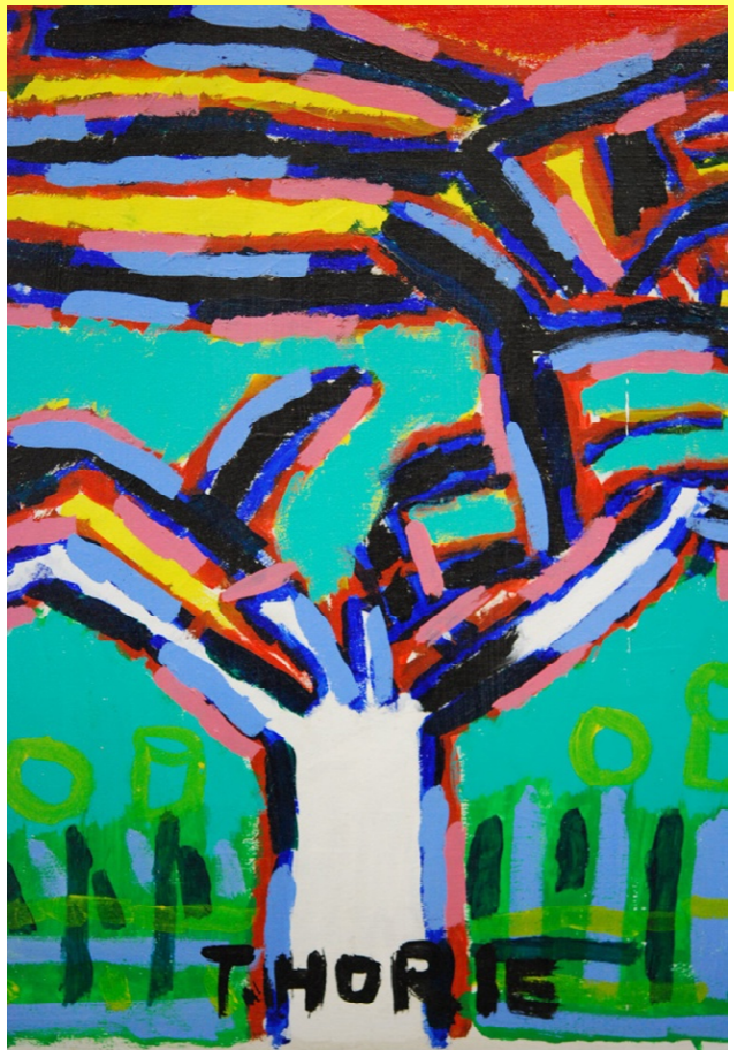
1/20 (金)

2/13 (月)

期間中

金・土・日・月

10~15時



森cafe

オープン

軽食・ケーキ

・ドリンク

「森」 堀江敏久：画

NPO法人「工房あかね」は障害をもつ人たちの芸術活動を支援しています

出品者所属団体

NPO 法人 工房あかね かなな会 かなの里 愛友会 もみじ学園 アートファクトリーでんえもん
善隣学園 ルンビニー園 はるな郷 アシスト前橋 慈生会 マ・メゾン光星 前橋あそか会 光明園

お問い合わせ まついだ森の家 安中市松井田町上増田670 Tel&Fax 027-393-0655

